

ワールドカップ です。いよいよです。

応援する方が心臓から口が出てしまうほど緊張しています。

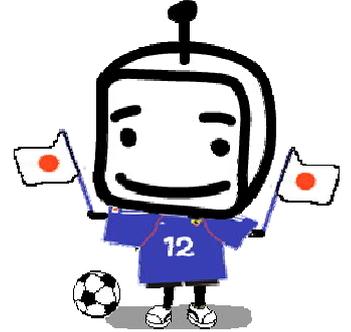
でも、その緊張感がワールドカップの醍醐味なのかもしれませんね。

こういう行事があるたびに、4年前は何をしていたか考えてしまいます。

4年前・・・前の職場でやはりパソコンに係わる仕事をしていました。その頃はWindows XPが出た頃の頃で、ほとんどの機種が2000かMeだったと思います。更にその4年前、1998年フランスにまで遡ると、ちょうどWindows 98の発売が思い出されます。その頃結婚したので自宅PCを買い換えたのです。それがリリース直後の98インストールマシンだった、というわけです。

過去を振り返るとパソコンがらみというのが職業病みたいで情けないですが、せっかくですので、

フーフレー!日本!



キューブ君

Windows の歴史と Vista として、

Windows の変遷と、新しいバージョンVista について考えてみたいと思います。

ご存知、ビルゲイツさんですが、DOSと呼ばれるOSの開発が大出世のきっかけでした。1981年にMS-DOSとして販売し、マイクロソフトを大きく飛躍させる原点となりました。

その後、DOSの使い勝手を向上させたWindows 1.0、2.0、さらにWindows 286、386と開発を続けます。これらのソフトは、今のWindowsに比べグラフィックなどの機能がほとんどなく、単に画面を重ねるためのものだったようです。

実際にWindowsが世間に認知されるようになったのは、1990年のWindows 3.0からです。ここで初めて、Windowsにアイコンが登場します。また「ファイルマネージャー」や「プログラムマネージャー」も加わり、使い勝手はDOSや以前のバージョンに比べると格段良くなりました。

そして、大ブームとなったWindows 95で、パソコンとマイクロソフトの関係は切っても切れないものになりました。Mac以外のパソコンには、ほぼWindowsがインストールされ、個人で購入する人も増えました。続いて、Windows 98(わが家ではまだ現役)、Meとほぼ2年ごとに新製品が発売されていきました。一方、企業向けにはNTシリーズがあり、こちらもバージョンアップを重ねていきますが、Windows 2000からNTの名称は使われなくなりました。

更にXPの登場で、Windows 9X系(Me含む)とNT系が統一され、個人向けにはHomeエディション、企業向けにはProfessionalと、必要な機能によって選択できるようになりました。もちろん値段も違います。

そして来年、Vistaというバージョンが発売されます。

本当に使えるの? Windows Vista

前回のXPまでは、ほぼ2年ごとに発売されましたから、出るたびに「またかよ」という感じでした。今回は5年を経てのバージョンアップなので、個人的にもたいへん楽しみです。細かくは述べませんが、Aero、仮想フォルダなど面白い機能が数多く追加されています。

ただし、それが業務に必要なかは別です。ホビーとしてはいろいろと面白いです。セキリティが強化されたこと以外には、仕事との接点は少なそうです。逆にPCに高機能を要求するような追加もあり、導入に関してあまり急ぐ必要はないのかなとも思っています。

とはいえ、次のワールドカップが開催される4年後、PCの大半はVistaマシンに取って代わられていることでしょう。当然、我が家の98マシンは・・・?(貫)

お問合せはこちら

株式会社
アイ・シー・キューブ

〒310-0021

水戸市南町3-3-43

小林ビル5F

TEL 029-228-0116

FAX 029-233-0882

担当:

大好評『利益が増えるIT戦略セミナー』
今回は「利益を生み出す組織の構築方法」

詳しくは
ホームページでご確認ください
<http://www.ic3.co.jp/> 『セミナーのご案内』